

---

# じゃんけんぽん

棒人間

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

じゃんけんぽん

### 【Nコード】

N9390Y

### 【作者名】

棒人間

### 【あらすじ】

小学生達の卒業式の日の闘いと涙の話です

「「じゃんけんぽん！」」

「「あいこでしょっ！」」

どんな人でもやったことがあるだろう。  
子供の遊びの1つであるじゃんけん。

おにごっこの『おに』を決める、給食のデザートを掛けた闘い、その他色々な場面で用いられてきたじゃんけん。

そのじゃんけんが今、2人の少年の間にて行われていた。

「「あいこでしょっ！……！」」

またしてもあいこ。

これで67回連続であいこである。  
確率が物凄い事になっている。

「はあはあ……。ひ、久しぶりだぜ……。こんなに歯ごたえがある奴とやり合うのは。」

片方の少年が言う。

もう片方も応える。

「ふっ、光栄だね。僕も本気を出したのは久しい。周りに落ちていく有象無象の様にさっさと片付けてしまえと思ってだったが。」

見ると彼等の周りには十数名程の戦士達が倒れていた。

この2人の強者の闘いについて行く事ができなかった者達だ。

「うつつ…。畜生。」

「ば、バケモンだ…。」

事の発端は卒業式後クラスで集まった時の事である。

クラスメイト、仲の良かった者同士各々何処の中学校に行くのだの、  
ずっと友達だのと和気藹々と話していた。  
抱擁し合う者達もいた。

そこで誰かが言ったのである。

「今こそ『さやかちゃん』に告白する権利者を決めようではないか。  
」と。

さやかちゃんとはクラスのアイドル的存在である女の子の事である。

兵（つわもの）達は立ち上がった。

威風堂々と。

かくして、この闘いの火蓋が切つて落とされたのである。

1人、2人と脱落して行く者達。

負けまいとなんとか食らいついて行く者達。  
だが結局最後まで立っていられた者は2人。

かくして今に至る。

「そろそろ決着を着けようか。」

心なしか少年の背中にオーラの様なものが見えた。

もう片方からも感じられた。

「そうだな…！」

この時この場に居た者であれば分かっただろう。  
次の一撃で勝負が着くと。  
少年は言った。

「…俺、次はパーだすぜ。」

相手を動揺させたりするのに有効な一手だ。  
対する答えは…。

「そうかい？なら僕はチヨキを出そう。」

『僕の考えが正しければ奴はグーを出す。  
奴はそういう浅はかな奴だ。』

『…とかあいつ思ってんだろうな。甘いんだよ！俺は更に上に行く  
ぜ？ パーを出す！』

…。

互いの読み合いが終わったようだ。

「「じゃんけんぽんっ！」「」

「やっどおおあああああああ!!!!!!」  
少年は歓喜した。

あれだけあいこが続いたのだ。  
勝利がより一層嬉しいだろう。

「そんな馬鹿な…。お前はチヨキをだすんじゃない?」  
敗れた少年はグーを出した。

「ああ、最初はチヨキの積みりだったんだけどな。お前と心理戦や  
ったって勝てないから宣言どおりパーを出したんだ。」

敗れた方の少年は頭を垂れた。

「…ふつ。策士策に溺れるとはこの事か。お前の勝利だ。権利はお  
前にある。」

勝利した少年は言った。

「ありがとうな。…じゃ、行ってくる。」

「さやかちゃん！」

さやかと呼ばれた少女は友達と話すのを止め、少年に近づいた。

「どづしたの？」

緊張からだろ。

震えて上手く喋れなくなっているようだ。

「あ、あのさっ」

「あっ！！ ちょっとごめんね！ お兄ちゃん！」

さやかは兄に抱きついた。

「今日は立派だったな、さやか。」

「うんっ！ お兄ちゃん来るって言ってたからびっしてしたの！」

少年は悟った。

この少女には好きな人が居る。

「そうか、偉いなさやかは。」

頭を撫でられトロンとした顔になる少女。  
もう既に少年の事など頭に無かった。

「ねえ、お家帰ったら遊ぼう？」

「うーん、宿題少しやらないといけないしなあ。」

「やだ！お兄ちゃんと遊ぶー！」

「しょうがないやつだ。」

歩き去って行く2人。

それを見つめる少年。

更にそれを終始見ていた十数名。

なんとかやりきれない結末であった。

かくしてとある小学生達の卒業式は終了した。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9390y/>

---

じゃんけんぼん

2011年11月28日00時51分発行